

大学院特別講義

～ 医歯学先端研究持論 ～

講師：本田 賢也 先生

(慶應義塾大学医学部
微生物学・免疫学教室 教授)



講演タイトル:

「免疫系に影響を与える腸内細菌」

日時： 2015年 2月23日(月) 17:00-19:00

場所： 大学院講義室4 (M&Dタワー9階)

～ 講演抄録 ～

腸内細菌と常に接する腸管粘膜は、非常にユニークな免疫システムを形成している。中でも、インターロイキン-17を高産生するT細胞サブセット(“Th17細胞”)や、制御性T細胞(“Treg細胞”)が、消化管粘膜に恒常的に多数存在することが知られている。我々は無菌マウスを検討することで、腸内細菌の存在が、Th17細胞・Treg細胞それぞれの分化に必須であることを見出した。さらにどのような腸内細菌がそれら免疫細胞を誘導するのかを検討した結果、Th17細胞分化を誘導する腸内細菌としてセグメント細菌(segmented filamentous bacterium, SFB)を、Treg細胞分化を誘導する腸内細菌としてクロストリジウム属細菌を同定した。Th17細胞・Treg細胞はともに、自己免疫疾患や感染症に深く関わる細胞である。我々の研究結果は、こうした疾患への治療に応用できる可能性がある。

連絡先：免疫アレルギー学分野 烏山 一 (内線5162)